

志染地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和2年10月16日(金)
午後7時00分～8時35分
- 2 場 所 志染町公民館大会議室
- 3 参加者 志染地区 14人
市 14人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、市民生活部長、産業振興部長、都市整備部長、教育総務部長、企画政策課長、農業振興課長、プロジェクト推進課長、交通政策課長、建築住宅課長)
オブザーバー 5人

4 内 容

- (1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり

(2) 意見交換

- ア 志染バイパス延伸の際の両側歩道設置について

【志染地区】

県の加東土木事務所や市の関係部課長と協議を行ったが、納得できない地域住民もいる。両側歩道の設置が最善だが、設置が難しいことを地域住民に納得してもらえるように説明する方法はないか。

【都市整備部長】

両側歩道の設置が難しいことに納得していない方の意見を聞いたことがないため、一度お会いし話をさせていただきたいと考えている。また、地域から県へ直接要望するのではなく、市が間に入り、地域と一緒に協力を進めたいと考えている。当事業が前に進むようご協力いただきたい。

【市長】

県の担当者が実際に現地へ足を運ぶ機会が減っていることから地域に不信感を与えてしまっているため、協議の際は市も地域と共に参加させていただくことが最善であると考えます。ただし、両側歩道の設置については、現状では難しいことはご了承いただきたい。

【志染地区】

現状では難しいが、今後、利用者が増え歩道が必要と判断した場合は、両側歩道を設置すると県から聞いた。両側歩道が必要な状況となるよう、地域が活性化するような施設等を市が設置することはできないか。

【市長】

活性化に関する案については、行政だけでは至らない点もあるため、地域の意見もお聞かせ願いたい。また、情報公園都市の事業が進んだ場合に、道路事情や交通量に鑑み、志染バイパスが戸田まで延伸される可能性もあるため、総合的に考えていく必要がある。

【志染地区】

志染バイパスに面する田畑にゴミが捨てられていることがあるほか、歩道がないと農業従事者はあぜを通行するほかないため、歩道を設置して道路からある程度の距離を確保してほしい。また、窟屋の金水へ行く人が私有地内を通行することがあるため、南側にも歩道の設置を検討いただきたい。

【都市整備部長】

志染バイパスの南側については、路肩を広くとることを検討されている。通常75cmのところ、150cmの路肩を検討されている。車道幅についても、通常より広い3m25cmで計画されている。窟屋の金水や御坂サイフォン橋等の観光資源がある地域であるため、県に対しては引き続きよりよい整備を要望していく。地元の後押しも必要であるため、地域と共に県と交渉していきたい。

【副市長】

県がなかなか地域に出向けていないことは聞いている。両側歩道を設置しないことが決定しているという話ではなく、代わりに何が可能か検討してほしいと県に伝えている。

【志染地区】

現状に変化があれば両側歩道も対応できると県から返答があったが、どのような状態であれば両側歩道の設置が可能なのか、具体的に想像ができていない。現在の計画どおり、北側に歩道、南側に広い路肩を設置する場合、自転車は十分に走行できると県から回答があったが、歩行者はどうなるのか。

【副市長】

多額の予算を伴う事業として、道路を整備するに当たってのさまざまな制約がある中で、県も慎重な検討を行っていることはご了承いただきたい。ただし、協議の間隔があいてしまうことは適切でないため、市としてもしっかりと関わっていききたい。

【志染地区】

県から説明された内容を地域住民に伝えているが、両側歩道の設置を強く望む一部の住民に納得してもらうことが難しい。地域の代表である区長の立場もあり、調整に苦慮している。

【市長】

地域のバイパス検討委員会を開催する際には、市の関係部課長も参加させていただく。

イ 細目・四合谷間の道路の幅員拡幅について

【志染地区】

志染バイパスの開通以降、細目、四合谷間の道路の朝晩の交通量がかなり増えている。高校生の通学路であるため、大変危険である。幅員拡幅に際し、最も狭小な部分については農業用ため池を削る必要があると思うが、農業従事者は貯水量が減ることに抵抗があると思う。ただし、高校生の安全を考慮し、拡幅が必要であると市が判断された場合は、地域として全面的に協力させていただく。また、回答に記載されている地図混乱地域とは何か。

【都市整備部長】

地図混乱地域とは、法務局の保有する地図と実際の土地が相違している地域である。過去に何度も是正を試みたが、現地立会での意見の相違等により整理できていない。過去の記録を確認し、改めて調査しようとして内部で検討しているところである。おっしゃるとおり、狭小部を幅員拡幅するには、西側が河川であるため東側のロヶ坪池を削るほかない。当該道路が通り抜けに使用されていることは把握しているため、市としても拡幅の検討を行う必要がある。ただし、ロヶ坪池付近だけでなく、その他の箇所についても併せて考慮す

る必要があるため、地図混乱地域の整理の進捗状況も含めて協議させていただきたい。

ウ 志染中学校跡地活用について

【志染地区】

志染中学校の跡地をバスターミナルとして利活用することも含めて検討していただきたい。三田市では自動運転バスの実証実験をしており、将来的にバスや自家用車が自動運転に変わっていくのではないかと考える。緑が丘駅前から志染に通じる広い幹線道路に加えて大きなバスターミナルが整備されれば、将来的に自動運転バスの運行が可能になるのではないかと考える。また、バスターミナルを整備するほか、志染中学校跡地から東西への道路を整備することで観光客を呼び込む取組につなげていけるのではないかと考える。

【都市整備部長】

三田市の自動運転バスの実証実験の際に、乗車した。自動運転の実現には更なる技術の向上が必要であると聞いている。市としても、恵比須駅周辺が渋滞していることから、恵比須駅前の交差点を通らずに志染から加佐方面へつなぐ道路の整備について、三木市都市計画マスタープランにおいて検討している。また、バスターミナルの設置については、バスがバスターミナルに入ることによる遅延等の課題があるため、可否について慎重に検討する必要がある。まずは現状のバス交通を維持するため、引き続き路線バスを利用していただきたい。

【志染地区】

高齢者大学の入学者が年々減少している。交通の利便性が悪いことも原因の一つではないかと考えている。高齢者大学を志染中学校跡地に移転すれば、別所地区からも通いやすくなるのではないかと考える。志染中学校が緑が丘中学校と統合することで、地域としては大変寂しい思いをしている。

【教育総務部長】

高齢者大学があるまなびの郷みずほは、教室や体育館、グラウンド及び駐車場があり、施設面で充実している反面、交通の利便性が悪い。公共交通機関での通学が困難であるため

1日2便の送迎バスを運行しているが、自家用車での通学が多いのが現状である。現在、公共施設再配置計画を策定している。まなびの郷みずほについては、計画の中で他の施設と複合し移転することを検討している。高齢者大学の学生の皆様が通いやすい場所を検討したい。

【教育長】

志染中学校の統合により、地域が寂しい思いをされていることは認識している。ただし、規模が小さくなってしまった学校については、子どもたちのために統合が必要であると判断したものであり、地域や保護者の方にもご理解いただいたところである。また、志染地区から緑が丘地区への路線バスについては、教育委員会と都市整備部がバス事業者と何度も協議したが、実現は困難な状況である。

【志染地区】

ネスタリゾート神戸には大阪や神戸からの観光客が多いと考えるため、志染中学校の跡地を活用し、農作物の直売所、展示及び喫茶等があるおもてなし施設が整備できれば、観光客が立ち寄ることで集客が見込めると考える。跡地活用に協力する事業者を市の広報等で募集すれば、イベントも行える大規模な施設ができるのではないかと考える。

【産業振興部長】

市としても農業の6次産業化を推進しているため、農産物を加工し、これを観光資源として販売するような形にしていきたいと考えている。ただし、農家の減少により、農産物の生産量を増やすことが困難な中、地産地消を推進するために地域の生産者をどのように守っていくかが課題である。まずは地域と協議させていただいた上で、小規模で農産物や加工品を販売し、見通しが立てば広げていくという方法を考えている。

【志染地区】

跡地を活用して何かやろうという際にリーダーシップを取るのには行政かそれとも地域か。志染中学校は統合されるが、イベントも行えるような施設があれば、卒業生も地元に戻ってきたときに施設に立ち寄ることもつながる。行政がリードすることで地域住民も大きなイベント等を実施すること

ができると考える。

【市長】

農家の高齢化により、農産物直売所を設置しても安定的に農産物を供給できないと考える。さらに行政が運営する場合、失敗する例が多い。バスターミナルやおもてなし施設等の活用案のほか、民間企業からも複数の活用案をいただいているため、実現可能かどうか、また地域が納得できるものかどうか議論する必要がある。跡地利用の検討委員会を設置し、意見交換をさせていただきたい。

【総合政策部長】

跡地活用について既に民間企業から提案をいただいているが、さらに広く周知すれば新たな企業から提案がある可能性がある。跡地活用について協議する場を設ける際には、どのような方に入っていただくかも含めてご協力いただきたい。

【志染地区】

画期的な考えを持つ民間企業等との協力は大変良いと思う。利益だけでなく地域活性化も考えながら、企業と地域住民が一緒に盛り上げていくような施設を設置してほしい。

【副市長】

志染中学校は市街化調整区域にあり、民間の建物を新設することが困難な土地である。校舎をリノベーションして利用することは可能か等について調整する必要がある。また、地域からの提案のほか民間企業からも提案をいただいているが、市が契約する場合は公募を行う必要があり、各企業の提案や事業内容を十分に精査した上での手続きとなる。地域と協議しつつ慎重に進めていくため、ご協力いただきたい。

エ 青山5丁目から伽耶院口までのバス延伸の変更について

【志染地区】

バス路線を変更することによって窟屋のバス停がなくなることについて反対する住民もいるが、公共交通を維持するため利用者数が増えるようなルートに変更することも重要であり、難しい問題であると考え。バスのルートを変更することで、志染中学校統合後の中学生も緑が丘方面にバスで

行くことができる。前向きに検討するという回答があるが、積極的に実現できるようお願いしたい。

【都市整備部長】

過去にバス停設置の要望をいただき、窟屋にバス停を設置したという経緯がある。地域において結論を出していただければ、積極的に検討したい。

【志染地区】

窟屋のバス停について、地域で結論を出すことは困難であると思う。住民からさまざまな意見があると思うので、バスの乗降者数のデータ等を市から説明していただきたい。

【都市整備部長】

バスの乗降調査を行っているため、窟屋のバス停における乗降者数等の情報提供は可能である。説明の機会を設けていただければ、説明させていただく。

オ 市街化調整区域内での地域活性化について

【志染地区】

特別指定区域制度の導入について、平成30年9月の本会議での答弁以降の進捗状況を伺いたい。特別指定区域制度を利用して土地の活用を希望している人もいる。市街化調整区域に特別指定区域を導入するには2年程度かかると聞いているが、それほどまでに困難なのか。

【都市整備部長】

志染バイパス付近の土地については、市街化調整区域であることに加えて農振農用地であり、農地法による厳しい規制がある。農振農用地等の制限のある区域以外の区域に特別指定区域制度を導入するもので、最短でも2年かかる。活用を希望する方が地域にいらっしゃる場合、具体的な活用方法を示す必要があるため、ご相談いただければ説明させていただく。

【志染地区】

小野市では農地の活用ができていないが、三木市では活用できていない。もっと自由に農地を活用することはできないか。

【副市長】

小野市については、警察署の建設予定地が市街化調整区域

であったことから、平成24年頃から検討を重ね、市役所を核とした開発計画として認められた。市街化調整区域において、特別指定区域制度の導入だけでなく、どのようなまちにしたいのか、どのように地域の活力を維持していきたいのかについて、市としても地域と一緒に進めていきたい。